



国際日本文化研究センター
International Research Center for Japanese Studies

受講料

無料

定員

500名(抽選)

日文研 学術講演会

Nichibunken Public Lectures

2017年3月9日(木) 14時-16時30分(開場13時15分)

国際日本文化研究センター内講堂

主催：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター

日本の大衆文化とキリスト教
井上 章一(日文研 教授)

上方新劇の現代性
一會我廻参劇から松竹新劇まで
古川 綾子(日文研 特任助教)

International Research Center for Japanese Studies



日文研

日文研学術講演会

挨拶

小松 和彦

国際日本文化研究センター 所長

司会

楠 綾子

国際日本文化研究センター 准教授



上方喜劇の現代性－曾我廼家劇から松竹新喜劇まで

日本の喜劇は明治30年代に関西で旗揚げした曾我廼家劇に始まる。創始者・曾我廼家五郎は大衆に支持され「喜劇王」と称賛されたが、一方で五郎が書いた「笑わせて泣かせる」脚本は低俗だと批判された。曾我廼家劇に対抗させるため松竹が結成した松竹新喜劇は、曾我廼家劇の影響を受けつつも、二代目渋谷天外により新境地を開き、いまなお商業演劇として成立するだけの集客を誇る。上方喜劇の系譜をたどり、その現代性を考察したい。

古川 綾子

国際日本文化研究センター 特任助教



日本の大衆文化とキリスト教

日本社会は、キリスト教をうけいれなかったと、よく言われる。それが、宗教学の、またキリスト教研究の一般通念となっている。こういった学問は、しかし大衆社会におけるキリスト教風俗のひろがりを見えていない。クリスマス・イヴを、デートのクライマックスだと考える。結婚式は、ホテルのチャペルで擬似キリスト教風に演出したいとねがう。そんな人びとの想いをとらえそなっている。当日は、大衆社会へ目をむけることで、既成の学問に反省をせまりたい。

井上 章一

国際日本文化研究センター 教授

ACCESS

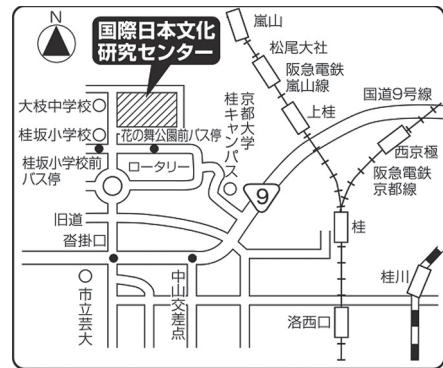
阪急桂駅～日文研間の無料バスサービス

往路(日文研行) 阪急桂駅東口発 12:50～13:20の間に5台
復路(阪急桂駅行) 日文研講堂前発 終演後すぐ 順次5台

通常交通手段 桂坂中央行のバスにて「桂坂小学校前」又は「花の舞公園前」下車

- 阪急桂駅西口～ 市バス西6、西5(約30分)
京阪京都交通バス20、20B(約20分)
- JR京都駅～ 京阪京都交通バス21、21A、26(約45分)
- JR桂川駅～ ヤサカバス1、6(約30分)
- 阪急洛西口駅～ ヤサカバス1、6(約20分)

お車でのご来場は、近隣への迷惑となるため、固くお断りしております。但し、車椅子を利用されている等、公共交通機関でのご来場が困難であり、お車でのご来場を希望される場合は、お申し込みの際にその旨をお申し出いただき、必ず事前に許可をお取り願います。



申込方法

- 催し物名 ● 代表者氏名(ふりがな) ● 郵便番号・住所 ● 電話番号/FAX番号
- 同伴者氏名(ふりがな)を明記の上、ハガキ/FAX/E-mailにてお申し込みください。

2月6日(月) 必着

※1申込につき2名まで受付。(3名以上のお申込みは、無効とさせていただきます。)
※抽選結果は、当落を問わず2月20日頃にお知らせいたします。なお、定員に達しない場合は期日以後もお申込みを受け付けます。

お申込み・お問合せ

国際日本文化研究センター研究協力課

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町 3-2

TEL: 075(335)2078 FAX: 075(335)2092

E-mail: koenkai@nichibun.ac.jp

※お申込みの為に預かりした個人情報は、大学共同利用機関法人 人間文化研究機構が主催する催し物のご案内のみに使用します。

参加申込書

ふりがな		ふりがな	
代表者氏名		同伴者氏名	
住所	〒 -		
電話番号		E-mail	